

科目名		サブタイトル		担当教員	配置学年	単位数
コミュニケーション論		グループワークを通じたコミュニケーショントレーニング		塚田 知香	1年次前期	2
科目区分	基礎	キーワード	ソーシャルスキル, リーダーシップ, チームワーク			
ディプロマポリシーとの対応		1. 時代や社会の要請に対応できる能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける				
事前に受講するとよい科目		特になし				
講義の目的	社会はさまざまな背景や考え方をを持った、性別・年代の異なる多様な人々で構成されており、コミュニケーションの齟齬によるすれ違いやストレスが日常的に発生している。このような多様性をもつ社会で楽しく過ごすためにはどうすればよいのだろうか。本授業では、さまざまなグループ課題を通して、多様性を持つ社会で生きるコミュニケーションスキルを身につけることを目的とする。					
到達目標	①コミュニケーション能力を心理学的に表す概念について、基礎的知識を身につける。②他者とのさまざまなコミュニケーションを通して自分自身のコミュニケーションスキルに気づく。③コミュニケーションスキルを向上させる。					
講義内容	アクティブラーニングの一環として、グループでの問題解決やディスカッション等を積極的に行う。グループワークでの自分のコミュニケーションを振り返ることに加え、他者の振り返りを共有することにより、コミュニケーションに関する気付きを得て、現実的なコミュニケーションスキルを高めていきます。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	オリエンテーション	授業の進め方、成績評価方法、コミュニケーションとは			
	第2講	ソーシャルスキルとは	ソーシャルスキルの解説、ソーシャルスキルの測定と解釈			
	第3講	コミュニケーション基礎①	グループワーク：第一印象			
	第4講	コミュニケーション基礎②	グループワーク：クルーザー物語			
	第5講	コミュニケーション基礎③	ペアワーク：2人で絵を描く			
	第6講	チームワーク	グループワーク：おもしろレジャーランド			
	第7講	リーダーとリーダーシップ	グループワーク：マシュマロチャレンジ			
	第8講	他者を説得する①	グループでの円滑な話し合いの進め方			
	第9講	他者を説得する②	他者を説得する方法			
	第10講	集団意思決定	グループワーク：結婚の条件			
	第11講	集団としての成長	グループワーク：ポジティブ人生相談室			
	第12講	集団として機能する①	グループワーク：みんなで完コピ			
	第13講	集団として機能する②	グループワーク：ブリッジビルディング			
	第14講	グループワークの終わりに	全体ワーク：言葉の花束			
第15講	習得したスキルの振り返り	ソーシャルスキルの再評価と解釈				
指導方法	授業は、教員による導入講義、学生同士のランダムグループによるグループワーク、ワークの振り返り、の流れで進める。					
事前学習	次回のキーワードとワーク内容を予告するので、キーワードについて調べ、自分なりのワークに臨む目標を定めてくること。1時間程度の学習時間が目安である。					
事後学習	授業で体験したワークについて参考図書等で調べ、概要や目的を復習したうえで、グループワークで体験した自分や他者のコミュニケーションについて振り返る。1時間30分程度の学習時間が目安である。					
成績評価方法	「本試験（レポート課題）」（40%）、「平常点（グループワークへの取り組み）」（30%）、「平常点（毎授業で行う振り返り）」（30%）					
テキスト	適宜資料を配布する。					
参考書籍	星野欣生（2002）人間関係づくりトレーニング 金子書房 星野欣生（2007）職場の人間関係づくりトレーニング 金子書房					
特記事項	進捗状況等により、内容や進め方を変更することがある。					